

事業所名 障害児通所支援事業所 きぼうっこ山本

## 支援プログラム

作成日 R7 年 1 月 10 日

法人（事業所）理念	1) 一人ひとりの意思と人権を尊重する 2) 一人ひとりが、社会に一員として、ともに生きる社会づくりに参画する 3) 一人ひとりが、明るく、楽しく、幸せに暮らせる地域づくり、ホームづくりを目指す				
支援方針	利用者が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会交流ができるように当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて効果的な指導及び訓練等の支援を行うことを目的とします。				
営業時間	12 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">あり</span> なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	先生やお友達との触れ合いの中で、自己の存在感や充実感を味わう経験を積み、他者と良好な関係を保ちながら心身ともに健やかな生活を営むことができるように支援する。			
	運動・感覚	見たり聞いたり身体を動かしたりしながら外からの情報を取り込む体験を通じて、様々な刺激や経験を吸収し、イメージする力が養われるよう支援する。			
	認知・行動	様々な遊びを通じて、認知の発達と行動、空間・時間・数等の概念的形成の習得に繋がるよう支援する。			
	言語 コミュニケーション	自分で目標を決めることで、主体的に行動する機会を増やし、目標に向かって自発的に取り組み、自分の気持ちを言語化する練習を繰り返し、自信をもって参加できるよう支援する。			
	人間関係 社会性	小集団によるソーシャルスキルトレーニングを実施し、きぼうっこ式評価システムを活用し、繰り返し練習することで、必要となるソーシャルスキルを習得できるよう支援する。			
家族支援	保護者面談や療育の参観の機会を設け、事業所での様子を丁寧に伝えるとともに、児童の家庭や学校での様子を聞き取り、情報共有を図り、保護者の心配ごとへの助言を行う。	移行支援	学校生活をスムーズに過ごすことができるように、事業所で学んだスキルを社会生活の中で活かすことができるように助言を行う。退所した児童に対して、移行先施設との連絡調整を行う。		
地域支援・地域連携	関係機関連携会議の機会を設け、児童のそれぞれの場面での様子を聞き取り、児童が安心・安全に過ごせるように、関係機関で役割分担を行い、対応方法の統一を図る。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SST研修やトレーニングを行い、SST指導技術の向上を図る</li> <li>・様々な研修に参加する</li> <li>・相談技術の向上を図る</li> </ul>		
主な行事等	保護者会・きぼうっこ合同芋ほり&パーベキュー大会・季節の行事・保護者参加型行事・参観日など				